



平成30年2月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成30年1月11日

上場会社名 エスフーズ株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2292 URL http://www.sfoods.co.jp  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 村上 真之助  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 管理本部長 (氏名) 安岡 信幸 (TEL) 0798(43)1065  
 四半期報告書提出予定日 平成30年1月12日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年2月期第3四半期の連結業績(平成29年3月1日～平成29年11月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年2月期第3四半期	233,633	12.7	8,304	10.0	8,697	10.2	5,862	28.7
29年2月期第3四半期	207,270	15.4	7,552	27.1	7,889	27.1	4,555	39.0

(注) 包括利益 30年2月期第3四半期 16,228百万円(139.4%) 29年2月期第3四半期 6,778百万円(68.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年2月期第3四半期	192.18	—
29年2月期第3四半期	162.68	144.11

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年2月期第3四半期	162,872	88,695	51.0
29年2月期	134,271	64,524	44.1

(参考) 自己資本 30年2月期第3四半期 82,998百万円 29年2月期 59,154百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年2月期	—	17.00	—	18.00	35.00
30年2月期	—	19.00	—	—	—
30年2月期(予想)	—	—	—	19.00	38.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年2月期の連結業績予想(平成29年3月1日～平成30年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	310,000	10.2	11,500	9.0	12,000	10.7	7,000	7.7	221.06

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換による影響を考慮しております。詳細につきましては、「業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
 新規 社(社名) 、除外 社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年2月期3Q	32,267,721株	29年2月期	32,267,721株
② 期末自己株式数	30年2月期3Q	602,835株	29年2月期	4,186,133株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	30年2月期3Q	30,504,687株	29年2月期3Q	28,001,861株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する事項につきましては、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご参照ください。

当社が平成27年5月7日発行の第1回無担保転換社債型新株予約権付社債について、平成29年7月31日までに全て権利行使による株式への転換が行われました。

連結業績予想の「1株当たり当期純利益」については、この影響を考慮して計算しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(追加情報)	7
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における日本経済は、底堅い内外需に支えられ企業業績は堅調に推移しておりますが、個人消費は賃金の伸び悩みもあり、やや緩やかな回復に留まっている状況です。食肉業界におきましては、円安の長期化や気候変動による原料価格の値上がり等から消費意欲の減退に悩まされました。

このような経営環境のもと、当社グループは、食肉事業の上流から下流までを一貫してグループ内で完結する垂直統合を推し進めることにより、安定した事業経営と安心で安全な食肉製品供給の強化を目指しました。

食肉等の製造・卸売事業においては、北海道における日高食肉センターや米国のAURORA PACKING COMPANYなどの食肉生産拠点の経営安定化に注力し、ブランド豚「ゆめの大地」や米国産高級品種アンガスビーフに特化した「AURORA ANGUS BEEF」などの販売を強化しました。また、昨年より鶏肉事業にも本格参入し、基盤拡大を図るための積極的な営業活動を行っております。食肉加工品においては、鍋物シーズンの定番アイテム「こてっちゃん牛もつ鍋」シリーズのシェアアップに努めました。

食肉等の小売事業においては、イベント型の提案販売や、レイアウト再構築等の既存店活性化を継続実施した他、生産性向上のために作業工程の見直し、適正な人員配置のためのシフトコントロールを強化しました。また既存店の改装や不採算店の閉鎖、新規ディベロッパーとの取組による新店開発や、新業態での新規出店等、各種施策を推進しました。

食肉等の外食事業においては、ステーキレストランチェーン事業及び焼肉・しゃぶしゃぶチェーン事業において、メニューの考案や不採算店対策等、競争力向上のための施策を実施しました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高2,336億3千3百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益83億4百万円（前年同四半期比10.0%増）、経常利益86億9千7百万円（前年同四半期比10.2%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益58億6千2百万円（前年同四半期比28.7%増）となりました。

続いて、セグメントごとの業績は次のとおりであります。なお、売上高は外部顧客への売上高を記載し、セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

#### ①食肉等の製造・卸売事業

売上高は2,100億8千7百万円（前年同四半期比14.4%増）、セグメント利益は78億6千6百万円（前年同四半期比13.8%増）となりました。

#### ②食肉等の小売事業

売上高は169億2千3百万円（前年同四半期比0.1%増）、セグメント利益は8億3千万円（前年同四半期比17.3%減）となりました。

#### ③食肉等の外食事業

売上高は56億4千9百万円（前年同四半期比0.9%減）、セグメント利益は3億5千9百万円（前年同四半期比6.4%減）となりました。

#### ④その他

売上高は9億7千2百万円（前年同四半期比0.5%増）、セグメント利益は9千6百万円（前年同四半期比4.0%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて286億円増加し、1,628億7千2百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う売上債権、たな卸資産の増加、土地の増加及び投資有価証券の増加によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末に比べて44億3千万円増加し、741億7千7百万円となりました。これは主に、売上高増加に伴う仕入債務の増加、借入金の増加及び新株予約権付社債の転換による社債の減少によるものであります。

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて241億7千万円増加し、886億9千5百万円となりました。これは主に、新株予約権付社債の転換による資本剰余金の増加、利益剰余金の増加、自己株式の減少及びその他有価証券評価差額金の増加によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年2月期通期の業績予想につきましては、平成29年4月14日に発表いたしました内容に変更はございません。

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

1. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	36,445	30,495
受取手形及び売掛金	27,238	34,429
商品及び製品	13,644	19,630
仕掛品	896	996
原材料及び貯蔵品	2,544	3,510
その他	3,157	3,803
貸倒引当金	△157	△178
流動資産合計	83,769	92,686
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	34,699	36,175
減価償却累計額	△21,224	△22,236
建物及び構築物(純額)	13,474	13,939
土地	11,067	14,135
その他	26,118	28,157
減価償却累計額	△18,120	△19,540
その他(純額)	7,997	8,617
減損損失累計額	△1,459	△1,586
有形固定資産合計	31,080	35,105
無形固定資産		
のれん	5	185
その他	406	396
無形固定資産合計	412	582
投資その他の資産		
投資有価証券	16,432	30,956
退職給付に係る資産	315	312
その他	2,461	3,427
貸倒引当金	△201	△198
投資その他の資産合計	19,009	34,497
固定資産合計	50,501	70,185
資産合計	134,271	162,872

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年2月28日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年11月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,947	28,124
短期借入金	5,281	6,074
未払法人税等	2,040	866
賞与引当金	884	1,423
その他	8,301	8,866
流動負債合計	38,455	45,354
固定負債		
社債	8,814	850
長期借入金	15,172	16,396
役員退職慰労引当金	315	329
退職給付に係る負債	2,021	2,099
その他	4,966	9,146
固定負債合計	31,290	28,822
負債合計	69,746	74,177
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,298	4,298
資本剰余金	12,120	18,715
利益剰余金	37,935	42,690
自己株式	△2,936	△423
株主資本合計	51,417	65,280
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	7,170	17,278
繰延ヘッジ損益	20	5
為替換算調整勘定	613	460
退職給付に係る調整累計額	△66	△26
その他の包括利益累計額合計	7,736	17,718
非支配株主持分	5,369	5,696
純資産合計	64,524	88,695
負債純資産合計	134,271	162,872

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
売上高	207,270	233,633
売上原価	176,140	199,139
売上総利益	31,129	34,494
販売費及び一般管理費	23,577	26,189
営業利益	7,552	8,304
営業外収益		
受取利息	27	33
受取家賃	99	98
受取配当金	154	243
その他	358	290
営業外収益合計	639	666
営業外費用		
支払利息	147	148
為替差損	44	9
賃貸原価	47	45
その他	62	70
営業外費用合計	302	273
経常利益	7,889	8,697
特別利益		
固定資産売却益	1	3
投資有価証券売却益	158	153
負ののれん発生益	—	30
その他	26	—
特別利益合計	186	187
特別損失		
固定資産処分損	77	88
減損損失	172	163
店舗閉鎖損失	4	0
その他	0	—
特別損失合計	255	252
税金等調整前四半期純利益	7,820	8,632
法人税等	2,817	2,413
四半期純利益	5,002	6,218
非支配株主に帰属する四半期純利益	447	356
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,555	5,862

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年3月1日 至平成28年11月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年3月1日 至平成29年11月30日)
四半期純利益	5,002	6,218
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,340	10,127
繰延ヘッジ損益	22	△14
為替換算調整勘定	△603	△154
退職給付に係る調整額	26	49
持分法適用会社に対する持分相当額	△10	2
その他の包括利益合計	1,775	10,009
四半期包括利益	6,778	16,228
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	6,307	15,843
非支配株主に係る四半期包括利益	470	384



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成29年7月13日付の取締役会において、当社従業員に対する譲渡制限付株式報酬として自己株式の処分を行うことを決議し、72,300株を処分しました。この結果、資本剰余金が244百万円増加し、自己株式が50百万円減少しております。また、当第3四半期連結累計期間において、平成32年満期の第1回無担保転換社債型新株予約権付社債の転換に伴い、資本剰余金が6,349百万円増加し、自己株式が2,463百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末の残高は、資本剰余金が18,715百万円、自己株式が423百万円となっております。

(追加情報)

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 平成28年3月1日 至 平成28年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	183,701	16,900	5,700	206,302	967	207,270	—	207,270
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,206	39	239	6,486	112	6,598	△6,598	—
計	189,908	16,939	5,940	212,788	1,080	213,868	△6,598	207,270
セグメント利益	6,914	1,004	384	8,303	92	8,396	△844	7,552

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び不動産事業等であります。
2. セグメント利益の調整額△844百万円には、セグメント間取引消去△26百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△817百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間（自 平成29年3月1日 至 平成29年11月30日）

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損 益計算書計上 額(注) 3
	食肉等の製造 ・卸売事業	食肉等の小売 事業	食肉等の外食 事業	計				
売上高								
外部顧客への売上高	210,087	16,923	5,649	232,661	972	233,633	—	233,633
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,370	38	306	6,715	121	6,836	△6,836	—
計	216,458	16,961	5,956	239,376	1,094	240,470	△6,836	233,633
セグメント利益	7,866	830	359	9,057	96	9,154	△849	8,304

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲料水製造・販売事業及び冷蔵倉庫業等であります。
2. セグメント利益の調整額△849百万円には、セグメント間取引消去△27百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△821百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない親会社及び一部子会社の間接部門の一般管理費であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

重要な該当事項はありません。